

記入例① 日本人同士がイタリア方式で婚姻する場合

記入後に訂正、追記、または削除する場合は、修正テープを使わず訂正前の文字が読めるように2重線を引いてください。

婚姻届

令和〇年〇月〇日届出

大使 殿
在ミラノ日本国 総領事

受理 令和 年 月 日

第 号

公館印

書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附票	住民票	通知
------	------	------	-----	----	-----	----

(1)	氏名 生年月日	夫になる人		妻になる人	
		さとう 栄介 氏 名 佐藤 栄介 平成〇年〇月〇日	やまだ はなこ 氏 名 山田 花子 平成〇年〇月〇日		
(2)	住所	イタリア共和国ロンバルディア州ミラノ県 ミラノ市イタリア大通り1番地		同左	
(3)	本籍 (外国人のときは 国籍だけを書いてください)	神奈川県横浜市 山下公園通り2		東京都世田谷区 代田橋1丁目29	
		世帯主の氏名 佐藤 栄介 筆頭者の氏名 佐藤 一郎	世帯主の氏名 同左 筆頭者の氏名 山田 勇太郎		
(4)	婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	父 佐藤 一郎	続き柄 長男	父 山田 勇太郎	続き柄 次女
		母 花子	続き柄 養子	母 悦子	続き柄 養女
(5)	同居を始める 前の夫婦のそれぞれ の世帯のおもな仕事と	新本籍(左の☑の氏の人ですでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください) 神奈川県横浜市山下公園通り2 番地 1			
(6)	初婚・再婚の別	☑初婚 再婚(☐死別 ☐離別) 年 月 日		☑初婚 再婚(☐死別 ☐離別) 年 月 日	
(7)	夫婦の職業	(国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください) 夫の職業 妻の職業			
(8)	その他	令和〇年〇月〇日 イタリア共和国 の方式により婚姻成立、 同国、ミラノ市役所 作成の婚姻証書添付。			
届出人署名 (※押印は任意)		夫 佐藤 栄 介 印		妻 山田 花 子 印	
事件簿番号					

(届出人の連絡先及び電話番号 +39 xxx-xxxxxxx メールアドレス xxxx@mail.com)

記入例① 日本人同士がイタリア方式で婚姻する場合

記入後に訂正、追記、または削除する場合は、修正テープを使わず訂正前の文字が読めるように2重線を引いてください。

<h2 style="text-align: center;">婚姻届</h2> <p style="text-align: center;">令和 ○年○月○日届出</p> <p style="text-align: center;">大使 殿 在ミラノ日本国 総領事</p>		受理 令和 年 月 日
		第 ○ 号 ご来館日、郵送の場合は投函日を書いてください。
		書類調査 戸籍記載 記載調査 調査票 附票 住民票 通知
(1)	夫になる人 (よみかた) 氏名 佐藤 栄介 西暦 1900 年 ○ 月 ○ 日	妻になる人 氏名 やまだ はなこ 和暦 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日
	住所 イタリア共和国ロンバルディア州ミラノ県 ミラノ市イタリア大通り1番地	住所 同左
(2)	世帯主 佐藤 栄介 川県横浜市 公園通り2	世帯主の氏名 同左 東京都世田谷区代田橋1丁目29
	外国人の氏名は、氏→名の順で記入し、氏名の間に「.」を入れてください。「.」は使用不可。ミドルネームはスペースを入れずお書きください。	持っている国籍をすべてお書きください。
(3)	養父母の氏名 父 佐藤 一郎 母 花子 父との続き柄 長男 母との続き柄 次女	父 山田 勇太郎 母 悦子 父との続き柄 養父 母との続き柄 養母
	国際結婚の場合はチェック欄記入不要です。	
(4)	婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍 <input type="checkbox"/> 夫の氏 <input checked="" type="checkbox"/> 妻の氏	新本籍(左の <input checked="" type="checkbox"/> の氏の人が入籍するときは書かないでください) 神奈川県横浜市山下公園通り2 番地 1
	同居を始めたとき	令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 (結婚式をあげたとき、または同居を始めたときのうち早いほうを書いてください)
(5)	当てはまる職業のカテゴリーに <input checked="" type="checkbox"/> 記入してください。	<input checked="" type="checkbox"/> 初婚 再婚 <input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離別
	同居を始める前の夫婦のそれぞれのおもな仕事と夫婦の職業	希望する新しい本籍地が現在の本籍地と異なる場合は日本の役所にその住所を本籍地とすることが可能かどうか、事前に確認してください。
(6)	夫の職業	妻の職業
	夫婦の職業 (国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください)	
(7)	その他	希望する新しい本籍地が現在の本籍地と異なる場合は日本の役所にその住所を本籍地とすることが可能かどうか、事前に確認してください。
	届出人署名 (※押印は任意)	手書(楷書)でお書きください。コピー不可。印鑑(拇印)は任意です。
(8)	夫 佐藤 栄介	妻 山田 花子
	外国人配偶者の署名は不要です。	
事件簿番号		連絡先を忘れずに記入ください。
(届出人の連絡先及び電話番号 +39 xxx-xxxxxxx メールアドレス xxxx@mail.com)		